# いずもの話題 TOWN NEWS

それぞれの委員が今の教育についての考えを話すなど、これからの教育の課題について積極的な話し合いが行われました（8月8日　出雲市役所教育委員会室）

## よりよい教育環境の実現を目指して

### ～出雲市教育政策審議会発足～

8月8日、市は21世紀出雲を担う子どもたちのよりよい教育環境を実現するため、出雲市教育政策審議会（江田小鷹会長：委員15人）を新たに立ち上げました。

教育現場においては、不登校やいじめをはじめ、子どもたちの学力低下の懸念や安全確保への対応など、学校だけでは解決することが困難な問題を数多く抱えています。

審議会では、“真の「ふるさと学校」の実現”“21世紀出雲を担う人材の育成”“学校現場における諸課題の解決策”の３つの事項を中心に、全市共通の教育に関する重要施策や支援のあり方について、幅広い視点から総合的に調査審議が行われます。

市では、審議会からの提言を迅速かつ的確に教育行政に反映していく考えです。

## 泥まみれで珍プレー・好プレー!

### ～「第9回新日本泥田バレーボール大会」～

**60チーム熱戦**

「第9回新日本泥田バレーボール大会」が8月19日、平田スポーツ公園東側の田んぼ（平田町）で開催されました。恒例となったこの大会も今年はキャンセル待ちが出るほどの人気のイベントとなり、６０チームの参加がありました。

顔が汚れることを気にしないで泥まみれになりながらボールを追いかけた参加者

じりじりと太陽が照りつける中、足をとられ思うように動けず全身泥んこになりながらプレーしていた選手たち。周囲には市内外から大勢の観客が集まり、泥の中に突っ込む選手の姿に暑さを忘れるくらい、楽しんでいました。



## 林業の活性化を支援

### 21世紀出雲林業フロンティア・ファイティング・ファンド創設

市と出雲地区森林組合および市内木材関係団体が資金を拠出して森林の整備や地元産木材の利用などについての助成を行う『21世紀出雲林業フロンティア・ファイティング・ファンド』（林業３Ｆ事業）が創設され、8月20日、運営協議会（長岡秀人会長：委員13人）の設立総会が行われました。

国内産木材の利用の低迷や手入れ不足で森林の荒廃が進んでいる中、林業３Ｆ事業を足掛かりに林業の活性化を目指します。現在、申請者を募集しています。募集期限は９月28日、事業の内容・補助金申請など詳しくは農林政策課へおたずねください。

対象事業

| 区分 | 内　容 |
|---|---|
| 川上事業 | **造林事業**<br>・新植、保育（下刈、枝打、除伐、間伐）<br>・作業道整備<br>**森林整備地域活動支援事業**<br>・状況調査、測量、製図等、境界刈り<br>・既設作業道管理修繕<br>※国・県の補助金交付金の対象外のもの |
| 川中事業 | **林業機械取得促進事業**<br>・林業機械（100万円程度）の購入費助成<br>**松材利用促進事業**<br>・建築用松材の出荷に対する助成 |
| 川下事業 | **地産地消促進事業**<br>・木材利用のＰＲ活動に対する助成<br>・地域、学校、団体が実施する木工教室への木材代等の助成<br>・地元産木材利用住宅新築に係る木材代の助成 |

●おたずね／
農林政策課　☎21−6582

## みんなで夏の思い出づくり

ジュニアキャンプ開催

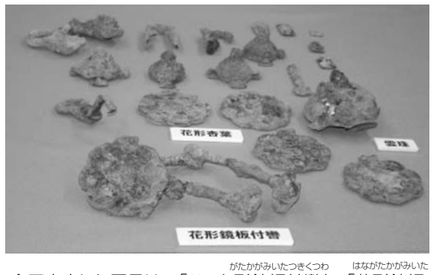
８月２１日から３日間、市内の小学５・６年生を対象とした『ジュニアキャンプ』が開催されました。

１日目は、天王山キャンプ場（矢尾町）でテントの設営やカレーライス作りなどに挑戦。子どもたちは、協力し合って一生懸命に取り組んでいました。参加した児童は、「テントの中で寝るのが楽しみ」と笑顔で話していました。

２日目以降も、ヤマメのつかみ採りや歴史学習、ニュースポーツ体験などを行い、子どもたちにとって、夏休みの貴重な思い出となりました。

市内14の小学校から5･6年生約50人が参加

## 中四国初!中村1号墳から馬具3組が出土




今回出土した馬具は、「ハート形鏡板付轡（がたかがみいたつきくつわ）」、「花形鏡板付轡（はながたかがみいたつきくつわ）」（写真）、「素環鏡板付轡（そかんかがみいたつきくつわ）」の3組です

平成18年７月から市が発掘調査を進めてきた国富町の『中村１号墳』（未盗掘古墳）。今回この古墳から３組の馬具が出土しました。３組以上出土した例は中四国では初めて、全国でも10例程度しかありません。

古墳時代後期の横穴式石室の多くは盗掘を受けており、副葬状況が詳細に分かる遺跡はあまりありません。今回の中村１号墳での出土は、古墳時代の社会状況を解明する鍵になるものとして、全国的にも注目を集めています。